

「アイヌ文化を発信する空間」の整備

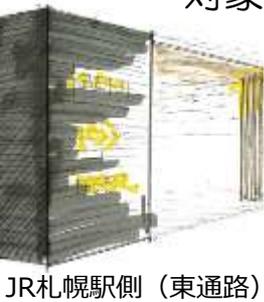


「空間」の概要

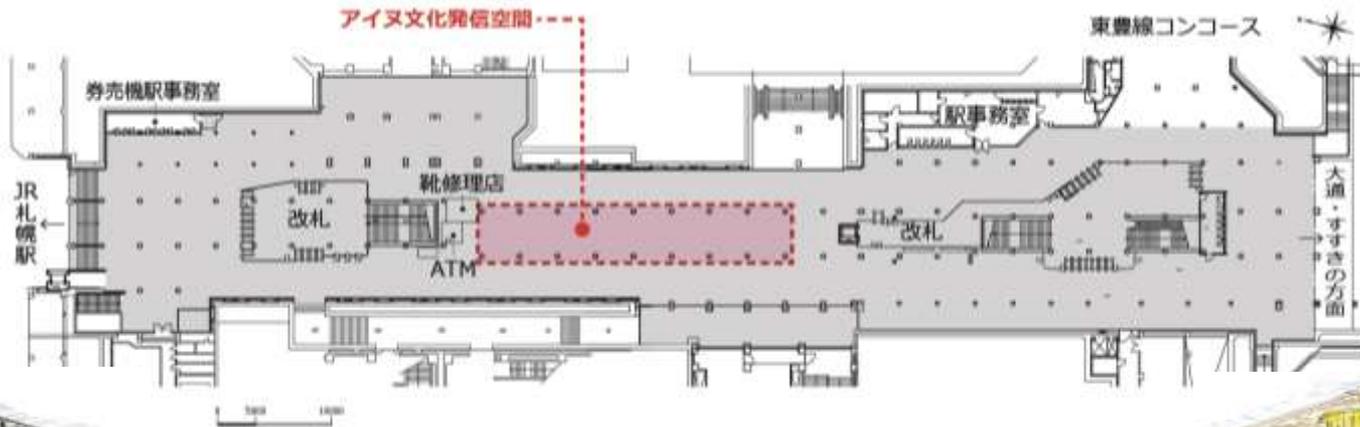
- 北海道観光、札幌観光の玄関次の一つである「地下鉄さっぽろ駅」の改修にあわせて、駅コンコース部に「アイヌ文化を発信する空間」を整備する
- この空間は、「アイヌの歴史や文化に対する理解促進のきっかけづくり」と「市内・道内に存在するアイヌ関連施設の情報発信」という役割を果たす

～計画対象地～

JR札幌駅・AP I Aと札幌駅前通地下歩行空間（チ・カ・ホ）の中間に位置する「地下鉄南北線さっぽろ駅コンコース部」内の南北の改札口に挟まれた範囲
対象面積：338㎡



JR札幌駅側（東通路）



JR札幌駅側（西通路）



南側（シンボル展示背面）

展示物

南側

■ シンボル展示

ねらい

アイヌ文化発信空間への愛着を醸成するシンボルとして設定する。

設定概要

- ・カムイをモチーフとして、木鈴など「音が出るしくみ」も加えより五感で感じることのできるオブジェとする。
- ・触れることができるシンボルオブジェとして、手触り感にすぐれ堅牢かつ安全な素材で制作する。

※ 地下空間であることから木工作品の場合は不燃処理が必要となる。



北側

■ 実物展示（ガラスケース展示）

ねらい

さまざまなアイヌ作品にスポットを当て、継続的に紹介していく。

全周から隣近に、じっくりと見てもらうことでさまざまな発見を促し、アイヌアート／工芸の巧の技を感じてもらう。

設定概要

- ・柱状のガラスケース（存在感を極力排除）とし、展示する立体工芸作品を浮き立たせる。
- ・各種手工藝作品やアイヌアート作品を展示する。

※ 大小の架台、展示治具を備え、さまざまに展示替えができるようにする。

※ 光（紫外線）、空気／環境管理、防虫・防カビ対策を検討する。



展示物(例)

- ① 弓、矢
- ② トンコリ
- ③ マキリ
- ④ 装身具
- ⑤ サバンベ
- ⑥ イクバスイ



映像展示（コンテンツ）①

テーブルを使った展示

■ 手乗りカムイ 『かくれんぼ遊び』 （インタラクティブコンテンツ）

ねらい
小さなカムイ（生き物たち）が、テーブル上にと現れては、隠れてしまう…まるで、かくれんぼ遊びをするかのように出会うことができる。アイヌの世界観に触れ合い親しみを感じてもらえるコンテンツとする。

演出概要

- ・時折、テーブルが（葉がゆっくりと揺れるように）ざわめき、ユカラの言葉が聞こえてくる。
- ・葉陰から、カムイが姿を覗かせ、気ままにテーブルの上を動いている。
- ・触れようとする、スッと逃げ去ってしまうが、時折、手のひらに乗ってくれる。
- ・カムイは手のひらの上に乗ると人（アイヌ）に姿を変えあいさつしてくれる。



デジタルAIインタープリター「カムイ」

アイヌ文化発信空間全体のマスコットとしてさまざまなコンテンツに登場するイメージ。
※実施設計において具体的にデザインを検討する。



デジタルアイヌ文様デザイン 『アイヌ文様遊び』 ※ 『かくれんぼ遊び』に包括

ねらい
魔除けの願いが込められていたものとされるアイヌ文様。
テーブル上で、変化する文様を操りながら、そのデザインを持つ意味と美しさを感じることができる。

演出概要

- ・人（アイヌ）に姿を変えたカムイが、アイヌ文様を紹介してくれる。
- ※直感的に理解できる表現（蔓植物がモレウ、棘植物がアイウシに変化するなど）とする。
- ・紹介されたアイヌ文様に手を近づけると（センサーが手の位置や動きを検知し）カタチや色が次々と変々していく。



映像展示（コンテンツ）②

■ 『カムイモシリ』（カムイシルエットアート グラフィック）

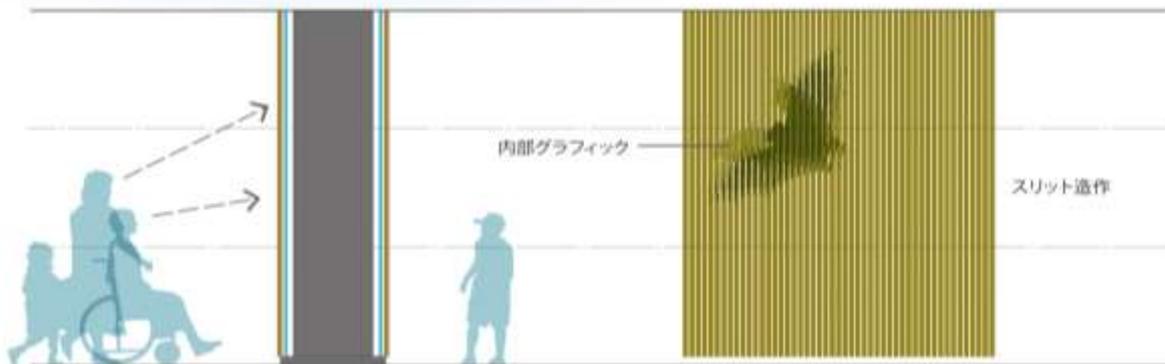
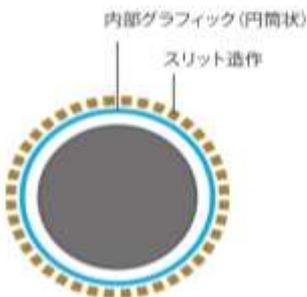
ねらい
カムイたちの気配を演出する空間意匠グラフィック。アイヌ文化の世界観を表現する。

演出概要
・柱の意匠スリット内に、さまざまなカムイの存在を感じさせるシルエットアートを配置。
※実施設計において錯視効果の導入などを検討する。

柱を使った展示



× 16モチーフ



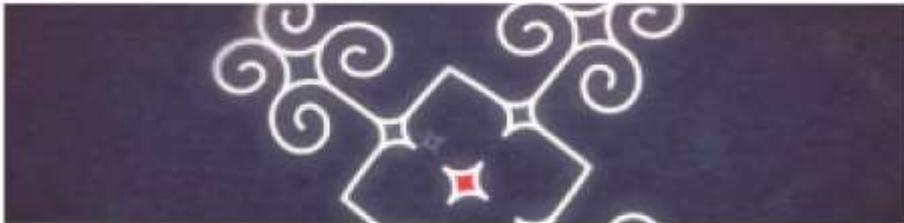
映像展示（コンテンツ）③

■ スクリーンセーバー『アイヌ文様ムービング演出』（幕間映像）

ねらい
コンテンツ上映の合間にアイヌ文様のアニメーションを放映する。
アイヌ文化発信空間全体のアイヌ文様意匠と関連させ、動き出したかのような印象を与えるものとする。

演出概要

- ・アイヌ文様がアニメーションで次々と描かれていく。
- ・静的な文様に「動き」を与えることで、文様に込められたカタチへの新たな発見を促す。



■ シアター映像『アイヌ作品等』（映像コンテンツ）

ねらい
アイヌアニメ作品や記録映像などのコンテンツを上映し、アイヌ文化や美術への発見を促し、親しみを感じてもらう。

演出概要

- ・コンテンツマネジメントシステムのタイムスケジュールに従い、収録映像が上映される。



■ イベント案内（映像コンテンツ）

ねらい
・アイヌ文化交流センター（サッポロピリカコタン）をはじめとして、全道各地で開催されるさまざまなイベントを紹介。

マイツツターを使った展示

演出概要

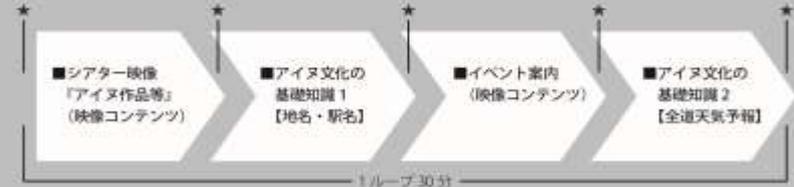
- ・ピリカコタンで開催されるイベント取材し、編集した映像を上映。
- ・民族共生象徴空間 / 白老町など、他のアイヌ文化施設などの取材収録映像なども放映できる。



札幌市 アイヌ文化交流センター（サッポロピリカコタン） サイトより
<http://www.city.sapporo.jp/shimin/pirka-kotan/index.html>

◎メインシアターのコンテンツ放映スケジュールイメージ(案)

★スクリーンセーバー『アイヌ文様ムービング演出』



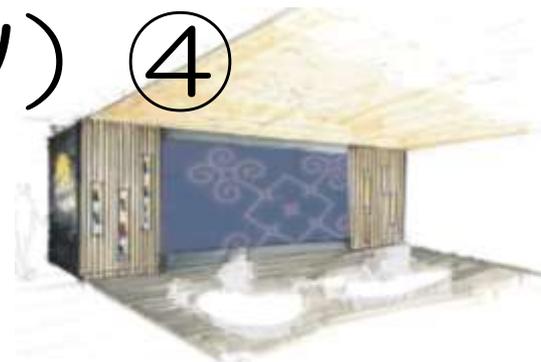
◎放映時間について



※南北線の運行時間 / さっぽろ駅時刻に合わせて放映時間の一例です。

※交通状況（選送時間帯と緩和時間帯）に合わせて、放映コンテンツのマネジメント管理・調整を前提とします。

映像展示（コンテンツ）④



メインシアターを使った展示

■アイヌ文化の基礎知識1【アイヌ語由来の地名・駅名】

ねらい
北海道の地名には、アイヌ語に由来するものが数多くある。このコンテンツでは、その地域の特徴などからアイヌの人々によって命名された札幌近郊※の地名を紹介する。

演出概要
・『アイヌ文様ムービング演出』と『アイヌアニメ作品』などの合間に上映するショートムービー。
・1分程度の映像で、一つの地名を紹介。
・映像は10本程度作成し、例えば15分に1本など、テレビCMのように上映を行う。
※追加できるようにする。

アイヌの言葉がイメージ写真などとともにつづつ表示されその意味も示される。(30秒程度)



個々のイメージ画像が中央で一つになると、映像が前面に広がり、実際の写真または動画が紹介される。(30秒程度)



※駅名、地名の例
札幌(乾いた広大な川、葦原の大きな川)、手稲(濡れている・もの)、真駒内(奥にある川)など。
※他の地域を後で追加できる内容とする。

■アイヌ文化の基礎知識2【アイヌ語 全道天気予報】

ねらい
札幌市民に向けて、また札幌駅から旅立つ人々に向けて、札幌市と道内各地(代表的な地域)の天気予報をアイヌ語で案内する。

演出概要
・『アイヌ文様ムービング演出』と『アイヌアニメ作品』などの合間に放映するインフォメーション。
・1分程度で代表的な地域の名前と天気をアイコンと音声で紹介。



-  メライケ(寒い)
-  セセツ(暑い)
-  シッピッカ(晴れ)
-  ニククル(曇り)
-  ウバシ(雪)
-  アフト(雨)

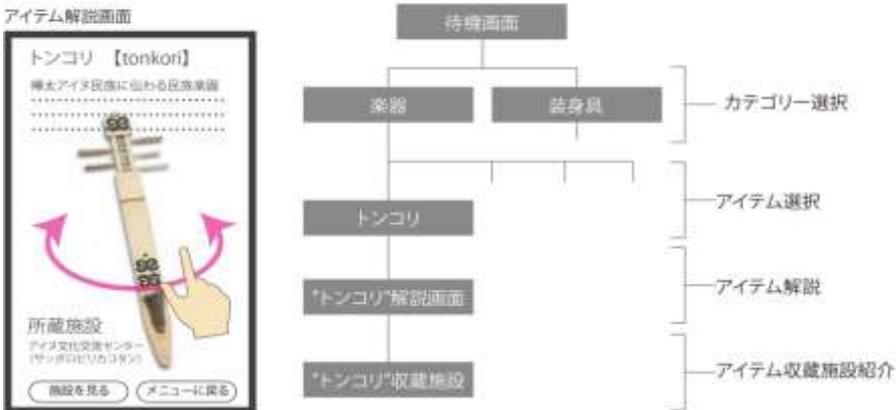
映像展示（コンテンツ）⑤

柱内のタッチパネルを使った展示

■インタラクティブコンテンツ 『アイヌアートバーチャルタッチ』

ねらい
VRならではのアイヌアートコレクションコンテンツ。
アイヌ工芸や装身具などを360度すべての方向から自由に閲覧したり、詳細・関連情報を検索することができる。

- 演出概要**
- ・札幌市所蔵のアイヌアート等をVR記録(360度記録)し、それをタッチパネル上に表示。
 - ・タッチパネルでカテゴリー(工芸品、マキリ道具、信仰道具、装身具、楽器など)からアイテムを検索。
 - ・検索したアイテムは、画面に触れて操作することで好きな角度から眺めたり、拡大縮小したりできる。
 - ・アイテム毎の解説だけでなく、所蔵施設などを表示することで、どこに行けば実物を見ることができるかが分かり、その施設の紹介及び施設までの交通手段等の紹介も行おう。
 - ・多言語表示にも対応。
 - ・コンテンツは追加・削除・変更などが自由に行えるシステムとする。



■マルチインフォメーション 『アイヌ文化&情報・デジタルサイネージ』 & 検索

ねらい
アイヌ文化のデジタルサイネージとして、全道のアイヌ文化関連施設やイベントの告知、天気予報などを放映する。
また、興味に応じて検索もできる。

- 演出概要**
- ・コンテンツマネジメントシステムからの入力・設定にしたがって、全道の地図上に施設マップが表示されたり、イベント紹介画面を表示する。表示ボタンをタッチすると関連情報を検索できる。
 - ・その日の天気予報をインターネットから取得し、「晴れ」や「くもり」「雪」などをアイヌ語で紹介する。

アイヌ文化関連施設紹介



アイヌ語天気予報

